

## 兵庫県立大学附属中学校にてカメムシを使ったプロジェクト学習を実施

1月21日（火）、兵庫県立大学附属中学校でプロジェクト学習の口頭発表会が開催されました。このプロジェクト学習は、各分野の専門家の指導のもと、グループごとに探究学習を行うオリジナルの総合学習で、アース製薬は兵庫県との包括連携協定の一環として協力しました。

「カメムシのニオイで芳香剤を作ろう」班では、6名の生徒が、研究部の浅井一秀係長と野村拓志係長の指導を受け、2年生から3年生にかけて約2年間学習をしました。

継続的なフィールドワーク、工場見学、実験などを通じて、「虫を観察して得た知識を応用した商品提案」という目標に向けて取り組んできました。

保護者や全校生徒に向けたカメムシ班の発表では、オリジナルCM動画などを盛り込んだ研究成果を発信し、会場も一気に盛り上がりました。生徒からは「この経験は私の人生を変えるものとなった」という感想もあり、学びを深める貴重な経験となりました。



会場後方に芳香剤と試験材の一部を展示  
生徒や保護者が立ち寄りました。



カメムシ班6名による、動画を交えた発表の様子。